

事務事業評価表

○基礎情報

課名		文化生涯学習課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外		総従事者	時間外勤務時間		
施策目標	13	まなびを通して、自らが住むまちについて知り、 愛着を持ち、未来を創造する力をはぐくむ	石井 亨	管理職	左記以外	再任用短時間	会計年度任用職員	派遣職員	総人工	総時間	一人あたり月平均
				1 人	13 人	1 人	28 人	0 人	28.42 人	1,216 時間	7.8 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の現状値	目標値(R2年度)	実績値		
			H30年度	R元年度	R2年度
市民講師登録数	64人	70人	102人	101人	90人
文化芸術事業参加者数	425,489人	550,000人	310,551人	368,345人	97,048人
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	市民の自主的な文化生涯学習活動の促進
2	生涯学習を担う人材の活用
3	生涯学習拠点の整備とネットワークの構築
4	芸術・文化に触れ合う機会の増加
5	身近なところで触れる芸術活動の展開
6	市史の編さん、情報発信

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和2年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)													Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	R元予算(円) R元決算(円)	R2予算(円) R2決算(円)	何・誰に対して (対象)	どう働きかけた結果 (手段・方法)	どうなったか(生ま れた成果・効果)	事務事業の指標	R2目標値	R2実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1	市民大楽まなび一な運営事業	1	0.37	一般	0 0	0 0	新型コロナウイルス感染症の影響により、人を集めての開催が困難となったため、動画配信に切り替えて事業を継続したことにより、目標を上回る市民講師の登録者数を維持できた。		まなびの市民講師の登録者数	70人	90人		B	変動なし		
2	茅ヶ崎ゆかりの人物館運営事業	4	2.29	一般	6,630,000 6,499,319	5,613,000 5,412,847	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部企画展を中止・延期したが、開館後は感染症対策を徹底し運営を行った。関連催事は中止したが、茅ヶ崎ゆかりの人物を取り上げた動画の配信やSNSを活用した情報発信をするなど、様々な工夫を凝らし、新しい生活様式に対応した事業展開をした。		来館者数	4,000人	1,319人		A	変動なし		
3	市民文化会館の指定管理に関する事業	4	0.47	一般	211,837,000 211,836,450	202,833,000 202,832,305	新型コロナウイルス感染症の影響により、当初は一時休館したが、その後は開館時間の短縮や定員数を減らすなどの利用制限を設けながら、練習・発表場所の提供を継続した。このほか計画事業を可能な限り開催し、発表機会が低減した市民等に対し、舞台上での練習を支援する代替事業を実施するなど、工夫を凝らして鑑賞事業と育成事業を継続した。		市民文化会館における来館者数	550,000人	77,265人		A	変動なし		

4	茅ヶ崎市民文化会館再整備事業	4	0.00	一般	0 0	0 0	H30年度に完了した。	耐震補強及び改修工事の進捗	-	-	実績なし	-		
5	茶室・書院管理運営事業	4	0.49	一般	5,716,000 5,712,000	5,700,000 5,700,000	新型コロナウイルス感染症の影響により、当初は一時休館したが、その後は茶室が主目的である特性上、使用の継続が困難であったものの、定員数を減らすなどの利用制限を設けた上で運営した。計画事業はやむなく中止となったが、代替として感染症対策を徹底しながら庭園で楽しめる事業や、映像配信に取り組むなど、新たな事業展開の契機とすることができた。	茶室・書院利用者数	4,900人	691人	A	変動なし		
6	茅ヶ崎市美術館指定管理に関する事業	4	0.37	一般	99,330,000 96,954,663	80,054,000 77,048,349	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部企画展を中止・延期したが、開館後は感染症対策を徹底し運営を行った。関連催事はほとんど中止したものの、代替事業として、展覧会関連動画を作成・配信した他、計画外事業としてオンラインミュージアム事業等を実施するなど、事業を継続するため、様々な工夫を凝らした一年となった。	茅ヶ崎市美術館における来館者数	42,000人	19,613人	A	変動なし		
7	旧南湖院第一病舎の活用に関する事業	4	0.47	一般	3,453,000 3,428,643	268,000 252,393	建物の価値を記録し後世に伝えていく観点から、現状において可能な範囲での旧南湖院第一病舎の部分公開を開始した。各種メディア等の広報において南湖院の歴史的価値等を周知できる場合等では、条件付きで建物内への入場、撮影を許可できるよう利活用の手法を整えた。	事業の進捗状況	利活用手法・運営方法の具体化	利活用手法整備（部分公開着手）	S	変動なし		
8	レインボーフェスティバル事業	1	0.60	一般	1,792,000 1,791,574	0 0	新型コロナウイルス感染症の影響により、来場者の健康と安全を最優先に考え、開催を中止とした。	・ステージ出演者数及び多目的広場では模擬店の出展数	ステージ27件 店舗47軒 フリマ55件	-	Z	減少		
9	生涯学習機会の提供	2	0.79	一般	7,258,000 7,220,580	6,724,000 6,309,333	地域に根ざした学習活動の促進及び市民の多様なニーズに応えるため、庁内外の連携により、市民による主体的な事業の展開を図った。新型コロナウイルス感染症の影響により、人を集めての開催が困難となったことから、オンライン講座開催を支援するためのセミナー等を開催するとともに、まなびの市民講師によるオンライン講座を開催した。	まなびの市民講師による自主企画講座の開催数	90	7回	C	変動なし		
10	市民文化祭事業	4	0.41	一般	5,225,000 4,538,396	2,269,000 1,548,250	市民に文化・芸術活動の発表と交流の場を提供することにより、活動を普及させるとともに、市民の意識の高揚及び知識・技術の向上を図った。新型コロナウイルス感染症の影響により、人を集めての開催が困難となったことから、オンライン文化祭と題して、展示を行ったほか、事前収録した動画を公開することで、文化・芸術活動の新しい形での発表につながり、普及の可能性が広がった。	開催日数及び行事数	20日間 27行事	事前収録等のため、開催日数はなし 9行事	A	変動なし		
11	次世代を対象としたアウトリーチ事業等	4	0.16	一般	279,000 279,000	0 0	子どもたちを中心に、豊かな創造性や感受性を喚起し、文化・芸術による心豊かな暮らしと新しいコミュニケーションの場の提供を目的とした講座を開催。保育園・幼稚園7園10クラス232人が参加した他、オンライン事業を実施した。事業主体がNPOとなった初年度だったが、感染症対策や実施方法を工夫し、新たな事業展開ができた。	鑑賞出張講座の実施クラス数	20クラス	10クラス	A	減少		
12	美術品収集事業	4	0.22	一般	43,000 42,460	703,000 642,480	美術館の独自性を発揮するため、茅ヶ崎市にゆかりの深い美術家の作品を収集する。2年度は42点の寄贈、6点の購入、2点の寄託を決定し、美術館の収蔵作品のさらなる充実を図った。	美術品審査委員会の開催回数	2回	2回	S	変動なし		

13	文化活動推進及び支援事業	1	0.27	一般	704,000 693,900	197,000 174,244	新型コロナウイルス感染症の影響により、文化を核として本市のまちづくりを総合的に推進し、各種団体等を支援するために開催予定だった劇団四季によるこころの劇場及び市民ふれあいプラザコンサートがともに中止となった。一方、本市の文化・芸術・芸能の高揚に寄与することを目的とする文化団体へ支援を行い、文化活動の推進に努めた。	文化活動支援事業の開催回数	4回	0回	Z	減少		
14	市史編さん事業	6	1.45	一般	7,128,000 5,928,998	4,825,000 4,718,775	市史及び市史刊行物の普及のため、幅広い年齢層の市民を対象に講座を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、講師や参加する市民の状況を考慮し、オンラインを含めた講座を実施するに至らなかった。代わりに、市SNSを活用して刊行物の紹介を行うなど、自粛生活への潤いをもたらすことに力を注いだ。	市史講座の開催	25回	0回	Z	減少		
15	子育て世代のための生涯学習交流サロン運営事業	2	0.24	一般	534,000 533,520	366,000 211,735	子育て世代に学びや仲間作りの場を提供するため、年12回の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により対面サロンを中止し、新しい生活様式を取り入れた動画配信・オンライン講座に切り替え実施した。	サロン実施回数	年12回	年3回	A	変動なし		
16	ハマミーナ総合案内管理運営業務	3	0.16	一般	64,326,000 63,782,075	62,365,000 60,408,944	新型コロナウイルス感染症の影響により、一定期間施設を閉館し、開館後も利用制限を設けたため、使用料は目標値を下回ったが、体育室の利用率は開館以来最も高くなった。	ハマミーナまなびプラザ使用料	4,200千円	1,661千円	A	変動なし		
17	市制70周年茅ヶ崎市民文化会館改修工事期間を活用したメ	4	0.00	一般	0 0	0 0	H30年度に完了した。	アーティスト参加者数	-	-	実績なし	-		
合計					R2予算(円) R2決算(円)	371,917,000 365,259,655								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課かいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)														
<p>文化生涯学習課の政策的事業の数は17事業であり、「実績なし」の2事業を除いた15事業の評価結果は、「S」評価が2事業、「A」評価が8事業、「B」評価が1事業、「C」評価が1事業、「Z」評価が3事業となった。施策目標の達成状況については、「市民講師登録数」は、目標値70人に対し実績90人となり目標値を上回っている。これは新型コロナウイルス感染症の影響で対面での開催が困難となったことから、動画配信やオンライン講座に切り替えて事業を継続したことにより、目標を上回る市民講師の登録者数を維持できたものと認識している。</p> <p>「文化芸術事業参加者数」については、目標値、元年度実績値と比較して大幅に少ない実績値となった。これは、新型コロナウイルスの感染拡大により、4月から6月まで施設を臨時休館したことや再開後も開館時間の短縮や定員数を定めるなどの利用制限を行ったことが大きく影響した。しかしながら、市民文化会館は感染防止対策を徹底しており、利用者からは「感染症対策の徹底により安心して利用できる」との評価をいただくなど、利用が戻りつつある。コロナ禍の収束が見えない中、今後も厳しい見通しであるが、感染防止対策を徹底した上で実施できる手法の変更を行うなど、文化芸術の鑑賞及び発表の場の提供という市民文化会館の役割を果たしていく。</p> <p>職員の時間外勤務は、元年度と比較して総時間数で1,787時間、一人当たり月平均で13.1時間減少した。主な要因としては、コロナ禍により事業を中止したことや職員の感染防止対策として実施した在宅勤務などが考えられる。</p> <p>全体を通して、令和2年度はコロナ禍の影響を大きく受け、予定していた事業の多くを中止せざるを得なくなった。そのような状況の中でも工夫を凝らし、SNSでの動画配信やオンライン講座の開催など、感染防止対策を徹底した上で実施できる様々な取組を進め、コロナ禍での事業展開に繋げることができたと考えている。</p>														

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は-)	事務改善の内容
	-	

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は-)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
	-	令和2年度末で計画期間が終了する予定であった茅ヶ崎市民文化生涯学習プランは、新型コロナウイルスの影響により当面の間延期することとし、それに伴い令和3年3月に「当面の間の文化生涯学習事業推進方針」を策定した。今後は、本方針に掲げる「縮充した文化生涯学習行政の実現」や「施設の特性を活かした運営」、「まちの新しい文化をつくるための人材育成」など、7つのポイントを勘案した事業展開をしていくが、いずれの事業も必要であるため休・廃止は困難である。